

教育委員会会議 令和4年3月定例会 会議録

(13:30)

1. 開 会

市民憲章唱和

2. 教育長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

4. 前回会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

なし

6. 議事

(1) 議案

①津山市青少年育成指導委員の委嘱について（次世代育成課）

概要説明（資料 6-1-1）

津山市青少年育成センター条例施行規則第9条の規定に基づき、津山市青少年育成指導委員を委嘱するものです。令和4年3月31日で現任委員の2年間の任期が満了するため、令和4年4月1日からの委員の委嘱についてお諮りいたします。津山市青少年育成指導委員は、津山市青少年育成センターの業務に協力し、地域における街頭指導その他青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として、町内会等からの推薦により教育委員会が委嘱するものです。委員は150人以内で、任期は2年間となっています。

この度委嘱する委員は112名で、任命期間は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間となっています。委員の名簿は資料のとおりです。

②津山市立鶴山小学校・津山東中学校・勝北中学校 学校運営協議会委員の委嘱及び任命について（学校教育課）

概要説明（資料 6-1-2）

来年度コミュニティ・スクールを計画している3校について、学校運営協議会委員の委嘱及び任命をするものです。今年度スタートした津山東中学校に加え、来年度からは、鶴山小学校と勝北中学校が計画を前倒ししてコミュニティ・スクールをスタートさせます。この度委嘱及び任命を行う学校運営協議会委員の任期は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの1年間となっています。各学校の学校運営協議会委員名簿は、資料に記載のとおりです。

(2) 報告

①令和4年3月定例市議会の質問答弁要旨について（教育総務課）

概要説明（資料 6-2-1）

3月7日から10日まで行われた津山市議会の一般質問で、教育関係の質問と答弁をまとめましたので、要旨を報告いたします。

会派未来の代表質問者である政岡哲弘議員からは、学校ネットワークの状況やICT環境整備及び津山市教育の総括と来年度の重点項目について質問がありました。ICT環境整備について、来年度は、通信環境を改善するため、児童生徒数の多い7校のネットワーク構成を変更する予算を計上していることを答弁しています。また、本市教育の総括については、「学びのサイクル」の徹底により、基礎学力の定着や「書く力」に一定の成果があったこととお答えし、来年度の重点項目については、新たな課題である読解力の向上のため、AIドリルを全校へ導入して活用することや読書活動を推進していくこと、不登校・長期欠席対策として、市内4中学校をモデル校として、居場所づくりを支援する新たな取組を開始することを答弁しています。

原議員からは、新型コロナウイルス感染症に係る学級閉鎖の状況と学級閉鎖期間中の学習保障等について質問がありました。学級閉鎖の状況をお伝えするとともに、学級閉鎖期間中はタブレットを持ち帰らせ、

授業の配信やドリル教材の活用を行っていることを答弁しています。

竹内議員からは、農業関連で、小中学校の段階から様々な職業を知る機会が必要ではないかという質問がありました。これに対して、キャリア教育の一環として、社会科見学や農業体験などの体験活動を実施しており、中学校2年生の職場体験では、幅広い視野につながるような活動を行っていることを答弁しています。

広谷議員からは、放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携について質問をいただいております、活動内容等をお答えしています。

美見議員からは、新型コロナウイルス感染症に関連して、PCR検査のあり方等について質問をいただいております、本市においても国や県の示す方針に基づいて対処していることを答弁しています。

河村議員からは、奨学金を活用した大学生等の定着促進事業と学校給食費の公会計化等に関する質問がありました。奨学金を活用した大学生等の定着促進事業の内容を説明するとともに、学校給食費の公会計化については、実施に向けた本市の考え方をお答えしています。

秋久議員からは、医療的ケア児の支援について質問がありました。本市においても今年度から支援体制を整備しており、今後も改善が必要な点について見直しを行いながら、適切な支援を実施できるよう環境整備に努めていくことを答弁しています。

三浦議員からは、教育振興基本計画（第3期）、全国学力・学習状況調査、校則、ネット・スマホ・ゲーム規制の4点について質問がありました。このうち、教育振興基本計画については、パブリックコメントでの意見がどのように活かされるのかという質問に対して、計画修正までには至らなかったものについても、計画を実行する際の参考とさせていただきたいとお答えしています。

幼稚園関係の質問では、原議員から、小中学校同様に保育現場の学級閉鎖への対応についての質問があり、運用及び状況をお答えしています。

美見議員からは、幼稚園通園バス運行業務委託の公募型プロポーザルについて質問があり、内容や審査の過程等を答弁しています。

秋久議員からは、看護・保育・介護職員給与引き上げ補助制度についての質問がありましたので、制度の概要や本市の対応をお答えしています。

②令和4年度 重点的・焦点的事業について（各課）

概要説明（資料6-2-2）

令和4年度は、この度策定しました「津山市教育振興基本計画（第3期）」を具現化するための最初の年度となります。各課において、計画で掲げた目標に向けて取組を進めていく上で、来年度、重点的・焦点的に取り組むものを順に説明します。

教育総務課は2点あります。1点目は「学校ICT環境の整備と活用促進」において、「①学校通信環境の強化」「②情報セキュリティ強化」で環境を整備するとともに、「③ICTの活用支援」「④ICTの先進的活用の研究」にも引き続き取り組み、将来的には先進的な活用を市内全校に展開させたいと考えています。

もう1点は「学校施設の計画的改修工事の着実な実施」です。来年度は大規模な工事として、河辺小学校の校舎改修（2年間）及び、一宮小学校と鶴山小学校のトイレ改修、加茂中学校の校舎改修（外壁）を予定しています。関係機関と連携し、安全な学校環境の整備を進めたいと考えています。

学校教育課は3点あります。1点目は「学力向上対策の推進」です。本市の児童生徒の学力は向上傾向にある一方、学年が上がるにつれて正答率が下がっていることや「読むこと」に課題があります。これらを踏まえて、来年度の重点的・焦点的な取組として、引き続き、学びのサイクルの具体化・見える化・徹底・確認に取り組み、学力向上担当者会等、様々な機会を捉えて、各学校の成果と課題を共有し、取組を進めるとともに、読解力向上のため、全校でAIドリル「navima」のコンテンツを活用しながら、各学校の実態に合わせて、調べる学習や読書活動を進めたいと考えています。

2点目は「ICT教育の推進」です。各学校で端末の活用を進める中、児童生徒間や教職員間に活用スキルの差が生じている現状があるため、これらを踏まえた次の3つを重点的に取り組みます。まず、各学校において授業でのICT活用場面の設定により、日常的に端末を活用するためのスキルを身に付けることにより、ロードマップに沿った端末活用を進めます。また、全小中学校で、全学年でAIドリル（navima）を活用し、基礎学力の定着や読解力の向上に取り組みます。さらに、学校教育研究センターの各部会で、先導的取組の研究・実践を進めるとともに「ICT活用推進チーム（仮称）」を立ち上げ、校内研修のサポート等に取り組みたいと考えています。

3点目は、「不登校・長期欠席への適切な対応」です。昨年度の全国問題行動調査では、本市の不登校は減少傾向でしたが、全国的な経年変化では増加傾向となっており、本市においても同様であると考えています。これらの課題を踏まえ、次の3点に重点を置き、取組の推進を図ります。1つ目は、「岡山型長期欠

席・不登校スタンダード」を軸として、支援の対象とする児童生徒を共有し、1人1人に合わせた支援策の検討を行うこと、2つ目は、新しい居場所（別室）での教員による個別支援を中学校4校をモデル校として取り組むこと、3つ目は、未然防止に重点を置いた学年担任制の試行です。学年担任制は、小学校2校をモデル校として研究を進めたいと考えています。

保健給食課は、今年度と同様の2項目となっていますが、内容をより進めたものを重点的・焦点的事業として挙げています。1点目は、学校給食費の公会計化に向け、以下の4つの取組を重点的に進めます。まず「①学校運営改善アドバイザー等関係者に意見聴取及び市教委内での継続協議」では、学校事務担当職員を対象として継続的に協議を進め、「②庁内PTにおける具体的な導入検討及び導入スケジュール等の決定」では、関係課と導入及びスケジュールの検討をより具体的に進めたいと考えています。合わせて「③徴収金システムの情報収集、その費用及び人件費などの必要経費算出」を進めるとともに、令和5年度の予算化に向け、「④推進体制の構築と必要経費の算出」を進めていきたいと考えています。

次世代育成課は2点挙げています。1点目は「子ども・若者の社会参加、自立支援」において、ニート・ひきこもり等に対して相談事業等を実施する「子ども若者育成相談支援事業」について、次の2つを重点的に行います。まず「①機能充実」では、青少年育成センターの機能を充実させるため、相談窓口の周知や専門家の活用、相談実務者の研修等によるスキルアップを図りたいと考えています。次に「②事業充実」では、ニートやひきこもりの方が、社会と交わる場を提供する居場所事業を実施し、社会と接点を持つ機会や職業観を醸成する機会を提供します。また、まなびカフェにも引き続き取り組んでまいります。さらに、当事者や家族の会の設置と開催を計画しており、同じ悩みや不安を共有できる機会を提供したいと考えています。

2点目は「相談・支援体制の充実」において、現在、鶴山塾・青少年育成センター・学校教育課等関係機関と連携しながら、不登校児童生徒等の支援を進めており、今年度も鶴山塾の相談員を1名増員して対応してきたところです。令和4年度に重点的に取り組むのは、次の2つです。「①支援体制の維持と支援体制の充実」では、相談事業の連携強化を図るとともに、児童生徒用タブレット端末を活用した効果的な支援方法の研究を実施します。また、なかなか家から出ることができない児童生徒や若者に対して、訪問支援によるフォローを実施します。「②啓発事業」では、鶴山塾が地域で出前講座等を行い、塾の取組の紹介等を通して地域への理解を広めたいと考えています。

こども保育課は2点あります。1点目は「保幼こ小連携事業」について、今年度は公立幼稚園2園と隣小学校の管理職会を組織化し、園児の給食体験や施設利用等の交流活動や教職員の合同研修会を実施することができました。これを受け、民間園へ小学校との連携実態アンケート調査を行った結果、連携未実施の園が7園あることが判明したため、今後、民間園と小学校との管理職会の組織化や複数園との連携が必要な小学校への調整が必要であると考えています。また、就学時の情報連携として、今年度、支援の必要な子どもたちの情報を小学校にスムーズに繋げていくための「津山市共通支援シートによる情報連携のためのガイドライン～みんなでつなぐバトン～（案）」、「津山市共通支援シート（案）」を作成しました。これらを受け、来年度は、民間園と小学校との管理職会の計画的な組織化を進めるとともに、「津山市保幼こ小接続カリキュラム」の活用や、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの見直しなどを含めた合同研修を実施したいと考えています。また、就学時の情報連携については、作成したガイドラインや共通支援シートをもとに、公立4園（つやま西幼稚園、つやま東幼稚園、勝北風の子こども園、みどりの丘保育所）、民間4園（二宮保育園、大崎保育園、高野第2保育園、東津山保育園）の8園をモデル園として活用を進めたいと考えています。仕組みや活用方法等を市内全園・校に周知するため、モデル事業で実施した内容を検証することにより、令和5年度から全園実施に向けた準備を進めてまいります。

2点目は「質の高い幼児教育の提供」について、幼児の学びを豊かにするために環境を整え、保育の改善を図るとともに、職員一人ひとりの保育実践力の向上、特に若手職員の育成を早急に行う必要があるという現状と課題を踏まえ、来年度の重点的・焦点的事業として、職員の専門性や保育力の向上を図るため、個々の課題やキャリアごとの育成指標を活用した園内研修を実施したいと考えています。また来年度は、つやま西幼稚園において実施される「岡山県人権学習充実拠点校事業」及び「津山市幼稚園教育研究会」による研究を進めてまいります。さらに、職員の主体性を生かした保育実践をしていくために、岡山県幼児教育センタースーパーバイザーや岡山県人権教育担当指導主事等による園訪問を実施し、質の向上を図りたいと考えています。

③佐良山小学校教員の処分等について（学校教育課）

概要説明（資料6-2-3）

3月18日に岡山県教育委員会にて佐良山小学校教員の懲戒処分が行われましたので、概要を説明します。

当該教員は、現任校勤務6年目で、体調不良により9月下旬以降は病気休暇・休職となっていました。本事案の経緯は次のとおりです。まず令和3年9月下旬に、女性教員が更衣室内の自身のロッカーの中で小型カメラを発見し、管理職に報告しました。校長は、教育委員会に報告するとともに、津山警察署へ通報し、警察による捜査が続けられていました。そして令和4年2月、津山警察署の取り調べに対し、当該教諭は盗撮を認め、その後の教育委員会の聞き取りに対して、同僚女性教員のスカート内を盗撮したことも認めました。津山市教育委員会は、これ以降にも本人から事実確認を行い、岡山県教育委員会に報告書を提出しました。

岡山県教育委員会は、3月18日に、当該教諭を免職、同校校長を戒告とする懲戒処分を行いました。また、同日夕方に、臨時校長会議を開催し、事案の概要説明を行うとともに、今後の信頼回復に向けて、(1)教育活動の充実(2)教職員の勤務管理の徹底(3)不祥事防止研修年間計画の計画・立案の3点を各校長へ指示しています。さらに、同校では同日夜に緊急保護者会を開催し、保護者への説明を行いました。今後の対応として、臨時教育委員会を開催し、行政措置の検討を行います。

資料に記載はありませんが、事案公表後の児童の様子についてお伝えします。小学校では、懲戒処分が行われた18日から3連休を挟んで卒業式が予定されていました。卒業式当日の朝には、校長が6年生のクラス(2クラス)を訪れて謝罪をした後に、「素晴らしい卒業式にしましょう」と声を掛けて式に臨み、児童からも力強い言葉が返ってきたとのことでした。学校では22日にスクールカウンセラーを交えた職員研修を実施し、1年生から5年生が公表後初めて登校する23日には、朝、校長がオンラインで各クラスをつなぎ、児童へ謝罪を行いました。子どもたちは、落ち着いた様子で学校生活を送ることができているということです。

7. その他

(1) 各課からのお知らせ

① 給食だより、3月イチオシ！給食レシピについて（保健給食課）

今月のイチオシ！給食レシピでは、防災献立として、切干大根のペペロンチーノのレシピの掲載と合わせて、「日常食」としても「災害食」としても役に立つ乾物の良さを紹介しています。また、1年間の食生活の振り返りを促す記事と、食育センターに届けられた手紙へのお礼を伝える内容を掲載しています。

② 津山市教育委員会通信4月号について（教育総務課）

津山市教育委員会通信4月号を発行します。表面には、新年度の教育長あいさつで、第3期教育振興基本計画のスタートをお知らせするとともに、発信の工夫として二次元バーコードで計画の内容にアクセスできるようにしています。下段には、マルイ・エンゲージメントキャピタル様からいただいた寄附の内容の紹介と贈呈式の様子を載せています。

裏面では、ICTを活用した「学びの見える化」への取組を紹介しています。NTTグループとの連携事業で目指すイメージを、図にして分かりやすく説明しています。下段には、鶴山小学校と勝北中学校でタブレットを使った学力テストを実施した様子を紹介しています。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会規則に毎月第4木曜日が定例会開催日となっていますが、次回定例会は令和4年4月28日(木)午後1時30分から開催します。 — 全員賛成により決定

(3) その他

なし

8. 閉会

(14:15)